

中学2年 英語 授業用プリント ⑤ 受け身 (be動詞 + 過去分詞)

1 全体像	2 受け身とは	3 作り方	4 過去分詞	5 否定・疑問	6 by 以外	7 見分け方	8 長文
-------	---------	-------	--------	---------	---------	--------	------

1 受け身の全体像 ― 「される側」から話す文

このページのゴール 受け身の文の形と、否定文・疑問文・by 以外の言い方を、ざっと言える

受け身 = be動詞 + 過去分詞。「される側」を主語にして、「～される・～された」と言う形

今までの文は、「する側」が主語でした。「される側」を主語にして話したいときに使うのが受け身です。過去分詞は、動詞の3つ目の形のことです (clean – cleaned – cleaned。くわしくは4ページ)。

- ふつうの文 Ken cleans this room. (ケンはこの部屋をそうじする。)
- ↓ 受け身 This room is cleaned by Ken. (この部屋はケンにそうじされる。)

ふつうの受け身 「～される」「～された」くわしくは 2～4ページ

形 主語 + be動詞 + 過去分詞 (+ by ～)。be動詞は時と主語で am・is・are・was・were から選ぶ

This temple was built in 1400. (この寺は1400年に建てられた。)

English is spoken in many countries. (英語は多くの国で話されている。)

否定文・疑問文 「～されない」「～されますか」くわしくは 5ページ

形 主語 + be動詞 not + 過去分詞 / be動詞 + 主語 + 過去分詞 ～?

This bag is not made in Japan. (このかばんは日本で作られていない。)

Was this letter written by Emma? (この手紙はエマによって書かれましたか。)

by 以外の前置詞 「～に知られている」「～でできている」くわしくは 6ページ

形 be動詞 + 過去分詞 + to・with・of・from・in・at。決まったまとまりで覚える

The mountain is covered with snow. (その山は雪でおおわれている。)

This chair is made of wood. (このいすは木でできている。)

合言葉 「受け身は be動詞 + 過去分詞」

× This temple built in 1400. → ○ This temple was built in 1400.
(be動詞を忘れない。過去分詞だけでは受け身になりません)

この単元の解説記事 (図と例題つき) : [かてきょノート \(katekyo-note.com\)](https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad2%e8%8b%b1%e8%aa%9e%e3%80%91%e5%8f%97%e3%81%91%e8%ba%ab%ef%bc%88%e5%8f%97%e5%8b%95%e6%85%8b%ef%t) <https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad2%e8%8b%b1%e8%aa%9e%e3%80%91%e5%8f%97%e3%81%91%e8%ba%ab%ef%bc%88%e5%8f%97%e5%8b%95%e6%85%8b%ef%t>

1 全体像	2 受け身とは	3 作り方	4 過去分詞	5 否定・疑問	6 by 以外	7 見分け方	8 長文
-------	---------	-------	--------	---------	---------	--------	------

2 受け身とは？ — 「される側」を主語にするわけ

このページのゴール 受け身を使う場面と、by ～ を言わないときが言える

① 「される側」を主語にしたいのは、どんなとき？

理由は2つあります。1つ目は、**する人が分からない・言う必要がないとき**。

ふつうの文 Someone opened the gate early this morning. （だれかが今朝早く門を開けた。）

↓ 受け身 The gate **was opened** early this morning. （門は今朝早く開けられた。）

「する側を主語にすれば言えるのでは？」と思うかもしれませんが、Someone opened ～ と言うこともできますが、だれが開けたか分からないのに someone を置くと、話の中心が「だれか」になります。受け身なら、話題の gate を主語にして、そのまま話を続けられます。

2つ目は、「される側」が話題のとき。

Rice **is grown** in many countries.

（米は多くの国で育てられている。）

話題は「米」。だれが育てるかは、言う必要がありません。

形 **be動詞 + 過去分詞** 「～される」「～された」（「～されている」と訳すこともある）

② 訳し方：「～される」「～された」が基本

訳	例文
～された	The library was opened in 1950. （その図書館は1950年に開かれた。）
～されている	French is spoken in Canada. （カナダではフランス語が話されている。）

③ by ～ を言う？ 言わない？

する人が分からないとき・言う必要がないとき・「人々みんな」のとき（by people・by someone）は、**by ～** を言わないことが多くなります。する人を伝えたいときは、最後に **by ～** を付けます。

This picture **was painted** **by Emma's mother**.

（この絵はエマの母によってかかれた。）

だれがかいたかを伝えたいので by ～ を付けます。

3

受け身の文を作る — 3つの手順と be動詞

このページのゴール

ふつうの文から、3つの手順で受け身の文が作れる

① 作り方の3つの手順

- ① 「～を」にあたる語を、文の最初（主語）に持ってくる
- ② 動詞を **be動詞 + 過去分詞** にする（wrote → was written）
- ③ する人を伝えるなら、もとの主語を **by ～** にして、最後に置く

もとの文

Emma wrote this letter. （エマはこの手紙を書いた。）

↓ 受け身

This letter **was written** **by Emma**. （この手紙はエマによって書かれた。）

反対に、受け身からもとの文にもどすときは、**by ～** の中（Emma）を主語にし、**be動詞 + 過去分詞**を時と主語に合う動詞の形にもどします（was written → wrote）。

② be動詞は、時と主語で決める

主語	現在	過去
I	am	was
you / we / they、2つ以上（these cars など）	are	were
he / she / it、1つ（this room など）	is	was

The window **is opened** by Tom every morning.
（その窓は毎朝トムによって開けられる。）

These windows **were opened** by Tom yesterday.
（これらの窓は昨日トムによって開けられた。）

合言葉 「be動詞は、時と主語で決める」

③ by の後ろは、him・her・them の形

もとの文

They built this house. （彼らはこの家を建てた。）

↓ 受け身

This house **was built** **by them**. （この家は彼らによって建てられた。）

×

This room cleaned by Ken. →

○ This room **is cleaned** by Ken.
（be動詞の抜け）

×

This house was built by they. →

○ This house was built by **them**.
（he → him、she → her、we → us）

4 過去分詞を覚える — 3つの型

このページのゴール 動詞の過去分詞を、3つの型に分けて言える

① 3つの型で覚える

動詞には「原形－過去形－過去分詞」の3つの形があります。受け身では3つ目を使います。規則動詞は、過去形と同じ形です。

型	原形－過去形－過去分詞（意味）	原形－過去形－過去分詞（意味）
規則動詞 (過去形と同じ)	clean – cleaned – cleaned （そうじする）	use – used – used （使う）
	visit – visited – visited （訪れる）	wash – washed – washed （洗う）
過去形と同じ (不規則)	make – made – made （作る）	build – built – built （建てる）
	sell – sold – sold （売る）	find – found – found （見つける）
	read – read – read （読む）	read の過去形・過去分詞の発音は [レッド]
3つともちがう	write – wrote – written （書く）	speak – spoke – spoken （話す）
	take – took – taken （取る）	see – saw – seen （見る）
	know – knew – known （知っている）	eat – ate – eaten （食べる）
	sing – sang – sung （歌う）	break – broke – broken （割る）

合言葉 「原形－過去形－過去分詞を、セットで声に出す」

② 例文で、過去分詞を使う

This car **is washed** by my brother every week.
(この車は毎週兄によって洗われる。)

Milk **is sold** at that shop.
(牛乳はあの店で売られている。)

My cap **was found** at the station.
(私の帽子は駅で見つかった。)

× This letter was wrote by Emma. → ○ This letter was **written** by Emma.
(wrote は過去形。受け身には過去分詞 written)

1 全体像	2 受け身とは	3 作り方	4 過去分詞	5 否定・疑問	6 by 以外	7 見分け方	8 長文
-------	---------	-------	--------	---------	---------	--------	------

5 「～されない」「～されますか」を言う — 否定文・疑問文

このページのゴール 受け身の否定文・疑問文と、疑問詞の文が作れる

① 否定文は、be動詞の後ろに not

肯定文 Soccer **is played** in this park. （サッカーはこの公園で行われている。）
否定文 Soccer **is** not **played** in this park. （サッカーはこの公園で行われていない。）

② 疑問文は、be動詞を主語の前に

肯定文 These letters **were sent** to Ken. （これらの手紙はケンに送られた。）
疑問文 **Were** these letters **sent** to Ken? （これらの手紙はケンに送られましたか。）
答え方 Yes, they **were**. （はい、送られました。）
No, they **weren't**. （いいえ、送られませんでした。）

疑問詞（When・Where）は文の最初に置き、そのあとは **be動詞** + 主語 + 過去分詞の順です。

When **was** this song **written**?
（この歌はいつ書かれましたか。）
Where **is** tea **grown** in Japan?
（日本では茶はどこで育てられていますか。）

合言葉 「否定は be の後ろに not、疑問は be を前に」

③ 呼び名をたずねる文

call A B（AをBと呼ぶ）の受け身は、**A を主語にした1通り**だけです。B を主語にはしません。What の文は、a lemon を What にかえて文の最初に置き、そのあとは疑問文の順（be動詞 + 主語 + 過去分詞）にします。

もとの文 We call this fruit a lemon. （私たちはこのくだものをレモンと呼ぶ。）
↓ 受け身 This fruit **is called** a lemon. （このくだものはレモンと呼ばれている。）
↓ What で What **is** this fruit **called**? （このくだものは何と呼ばれていますか。）

テストによく出る形
This flower **is called** sakura in Japanese. （この花は日本語でさくらと呼ばれている。）
What **is** this flower **called** in English? （この花は英語で何と呼ばれていますか。）

6 「～に知られている」「～でできている」を言う — by 以外の前置詞

このページのゴール by のかわりに決まった前置詞を使う受け身を、まとまりで言える

① まとまりで声に出して覚える

まとまり	例文と訳
be known to ～ ～に知られている	This singer is known to many people. (この歌手は多くの人に知られている。)
be covered with ～ ～でおおわれている	The road is covered with snow. (その道は雪でおおわれている。)
be made of ～ ～でできている	This desk is made of wood. (この机は木でできている。)
be made from ～ ～から作られている	This juice is made from oranges. (このジュースはオレンジから作られている。)
be interested in ～ ～に興味がある	My sister is interested in art. (私の姉は美術に興味がある。)
be surprised at ～ ～におどろく	We were all surprised at the news. (私たちはみんなその知らせにおどろいた。)

② made of と made from の使い分け

ふつう、見て材料が分かるなら of、形がかわって材料が分からないなら from を使います。

This house **is made** **of** wood.
(この家は木でできている。)
見て木だと分かるので of

Paper **is made** **from** wood.
(紙は木から作られる。)
形がかわって、見ても木だと分からないので from

③ 「知られている」は、ふつう to

- △ This singer is known by many people.
○ This singer is known **to** many people.
(文として誤りではありませんが、「～に知られている」はふつう known to を使います)

合言葉 「by 以外は、まとまりで覚える」

7 見分け方 — 受け身の文か、する側が主語の文か

このページのゴール 受け身の文を見つけ、日本語から受け身の英文が作れる

① be動詞 + 過去分詞を見つける

同じ cleaned でも、過去形のときと、過去分詞のときがあります。前に be動詞があり、そのあとが過去分詞かどうかで見分けます（be動詞のあとが ing形なら進行形）。

英文と訳	見るところ	何の文？
He cleaned the room. (彼は部屋をそうじした。)	be動詞なし。cleaned は過去形	する側が主語の文
The room was cleaned . (その部屋はそうじされた。)	was + cleaned (過去分詞)	受け身
He was cleaning the room. (彼は部屋をそうじしていた。)	was + ing形	進行形 (～している)

② まちがえやすいポイント

まちがい	正しい文	理由
× These books is read by many students.	These books are read by many students. (これらの本は多くの生徒に読まれている。)	主語が2つ以上なので are
× I was surprised the news.	I was surprised at the news. (私はその知らせにおどろいた。)	surprised のあとは、ふつう at

③ 鉄則 日本語 → 英語

- ① 「～される・～された」を見つける（受け身の文だと気づく）
- ② される側を主語にする
- ③ 時と主語から be動詞を決める
- ④ 動詞を過去分詞にする
- ⑤ する人を言うなら **by** ～ を付ける（by 以外のまともか確かめる）

That dog **is loved** **by everyone**.
(あの犬はみんなに愛されている。)

受け身／主語 That dog／現在・1つ → is／love → loved

8 長文で確かめる ― 受け身が1つの話の中に

このページのゴール 文章の中で、受け身がどう使われているかが分かる

ユキの町の紙の話です。①～⑧の受け身が、それぞれ何をしているかを考えながら読み、下の表で確かめましょう。

Yuki lives in a small town in Japan. Paper ①is made in her town. The paper ②is made from trees. This paper ③was first made about 500 years ago. Now it ④is loved by many artists around the world. Last week, Yuki's class visited a paper workshop. The students ⑤were surprised at the beautiful colors. Yuki asked, "⑥Is this paper made here?" A woman answered, "Yes, it is. It ⑦is made by my family every day." Yuki ⑧was interested in the work and said, "I want to make paper, too."

訳 ユキは日本の小さな町に住んでいます。彼女の町では紙が作られています。その紙は木から作られます。この紙は約500年前に初めて作られました。今では、世界中の多くの芸術家に愛されています。先週、ユキのクラスは紙の工房を訪れました。生徒たちは美しい色におどろきました。ユキは「この紙はここで作られていますか」とたずねました。女の人は「はい、そうです。毎日、私の家族によって作られています」と答えました。ユキはその仕事に興味を持ち、「私も紙を作りたいです」と言いました。

受け身の部分	される側（主語）	by ～・かわりの語を言っているか
① is made	Paper	言っていない（作る人は言う必要がない）
② is made from	The paper	from trees（材料。形がかわるので、ふつう from）
③ was made	This paper	言っていない
④ is loved	it（紙）	by many artists（愛する人を言っている）
⑤ were surprised	The students	at the beautiful colors（surprised + at）
⑥ Is ～ made	this paper	言っていない（作られる場所をたずねる疑問文）
⑦ is made	It（紙）	by my family（作る人を言っている）
⑧ was interested	Yuki	in the work（interested + in）

①③のように by ～ を言っていない文は、する人が分からない・言う必要がないので、受け身だけで話が成り立っています。④のように、愛している人を伝えたいときは by ～ を付けます。

確認問題 ① 形を作る

答えと解説は13・14ページ（7枚目の紙の表と裏）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 次の動詞の過去分詞を書きなさい。【4・6ページ】

- (1) use _____ (2) sell _____
(3) sing _____ (4) know _____

2 日本語に合うように、主語と時に合う be動詞を□に1語書きなさい。【3ページ】

- (1) これらの部屋は毎日生徒たちによってそうじされる。
These rooms □ cleaned by the students every day.
(2) これらの家は10年前に建てられた。
These houses □ built ten years ago.
(3) 私は先週エマに招待された。
I □ invited by Emma last week.
(4) 昼食は毎週日曜日に父によって作られる。
Lunch □ made by my father every Sunday.

3 日本語に合うように、() 内の動詞を使って、□に1語ずつ書きなさい。【3・4ページ】

- (1) その本は世界中で読まれている。(read)
That book □ □ around the world.
(2) これらのくつは日本で作られた。(make)
These shoes □ □ in Japan.
(3) このケーキは昨日ユキの弟に食べられた。(eat)
This cake □ □ by Yuki's brother yesterday.
(4) この国では2つの言葉が話されている。(speak)
Two languages □ □ in this country.

4 日本語に合うように、□に入る語を with・of・from・to・in・at から選んで書きなさい。【6ページ】

- (1) その橋は石でできている。
The bridge is made □ stone.
(2) チーズは牛乳から作られる。
Cheese is made □ milk.
(3) エマはほかの国々に興味がある。
Emma is interested □ other countries.
(4) ケンはその大きな犬におどろいた。
Ken was surprised □ the big dog.

確認問題② 文を作る・書きかえる・英作文

5 次の文を、by ～ を付けた受け身の文に書きかえなさい。【3・4ページ】

(1) Emma opened the door.

(2) Many students use this library.

(3) She took these pictures.

6 次の文を（ ）の指示にしたがって書きかえなさい（疑問文は答え方も書きなさい）。【5ページ】

(1) These dishes are washed by Ken. (否定文に)

(2) This book was written by Ken's father. (疑問文にして、Yes で答える)

(3) This movie was made in Canada. (どこで作られたかをたずねる疑問文に)

7 次の受け身の文を、（ ）内の語句を主語にして書きかえなさい。【2・3ページ】

(1) This song is loved by many people. (many people)

(2) These cakes were made by my mother. (my mother)

8 次の日本語を、受け身の文を使って英語にしなさい。【3・4・5ページ】

(1) この写真は去年京都で撮られた。

(2) この部屋は日曜日には使われない。

(3) この城はいつ建てられましたか。

9 次の英文のまちがい1か所を直し、日本語に合う英文を書きなさい。【3・4ページ】

(1) このカメラは日本で作られている。 This camera made in Japan.

(2) その窓はボールで割られた。 The window was broke by a ball.

(3) これらのかばんはエマの母によって作られた。 These bags was made by Emma's mother.

確認問題 ③ まとめの問題

10 (1) ～ (3) は日本語に合うように、(4) (5) は対話の内容から考えて、() 内の語句を並べかえなさい。(4) (5) は6つの語のうち1つが不要です。文の最初にくる語も小文字にしてあります。【2・3・4・5ページ】

(1) この学校は1960年に建てられた。(was / this school / in 1960 / built) .

(2) これらの車は日本で作られていますか。(made / are / in Japan / these cars) ?

(3) ケンの絵は多くの人に見られている。(by / seen / Ken's pictures / are / many people) .

(4) (高校入試の型)

A: Did you draw this picture?

B: No. (it / was / drawn / drew / by / my) sister.

(5) (高校入試の型)

A: This curry is delicious. (cooked / it / did / was / by / your) father?

B: Yes, it was.

11 次は、ケンの町の図書館についての英文です。読んで、あとの問いに答えなさい。【5・6ページ】

This is Aoba Library in our town. It was built about 80 years ago. It is visited by a lot of students on weekends. It is not open on Mondays. A new sign was written by a student last month. ① Next month, the library will hold a small event, and many people are going to come to it. Some rooms are covered with old photos. They were taken about 50 years ago. ② Ken is interested in the history of his town.

(1) 下線部①を日本語にしなさい。

(2) 下線部②を日本語にしなさい。

(3)・(4) は、本文の内容に合うように、英語で答えなさい。

(3) Was the new sign written by a teacher?

(4) When were the old photos taken?

(5) 図書館は何曜日が休みですか。日本語で答えなさい。 _____

このプリントに出てきた単語

代名詞 (I, you, it など)・冠詞 (a, the)・in や and のようなごく基本の語と、人名・地名はのせていません。

動詞（原形－過去形－過去分詞）	
answer－answered－answered	答える
ask－asked－asked	たずねる
break－broke－broken	割る、こわす
build－built－built	建てる
call－called－called	呼ぶ（call A B＝AをBと呼ぶ）
clean－cleaned－cleaned	そうじする
come－came－come	来る
cook－cooked－cooked	料理する
cover－covered－covered	おおう
do－did－done	する
draw－drew－drawn	（絵を）かく
eat－ate－eaten	食べる
find－found－found	見つける
go－went－gone	行く
grow－grew－grown	栽培する、育てる
hold－held－held	開催する、行う
interest－interested－interested	興味を持たせる（be interested in＝～に興味がある）
invite－invited－invited	招待する
know－knew－known	知っている
live－lived－lived	住む
love－loved－loved	愛する、好きである
make－made－made	作る
open－opened－opened	開ける
paint－painted－painted	（絵を）かく
play－played－played	（スポーツを）する、行う
read－read－read	読む
say－said－said	言う
see－saw－seen	見る
sell－sold－sold	売る
send－sent－sent	送る
sing－sang－sung	歌う
speak－spoke－spoken	話す
surprise－surprised－surprised	驚かせる（be surprised at＝～に驚く）
take－took－taken	取る、（写真を）撮る
use－used－used	使う
visit－visited－visited	訪れる
want－wanted－wanted	ほしい、～したい（want to～＝～したい）
wash－washed－washed	洗う
write－wrote－written	書く
そのほかの語（ABC順）	
about	～について、約～
ago	（今から）～前に
all	みんな、すべて（all～＝みんな）
around	～のまわりに、～中で（around the world＝世界中で）
art	美術
artist	芸術家
bag	かばん
ball	ボール

beautiful	美しい
big	大きい
book	本
bridge	橋
brother	兄、弟
cake	ケーキ
camera	カメラ
cap	ぼうし
car	車
castle	城
chair	いす
cheese	チーズ
children	子どもたち（childの複数形）
class	クラス
color	色（複数形 colors）
country	国
curry	カレー
delicious	とてもおいしい
desk	机
dish	皿（複数形 dishes）
dog	犬
door	ドア
early	早く
English	英語
event	行事
every	～ごとに（every day＝毎日）
everyone	みんな、たれでも
family	家族
father	父
first	初めて、最初に
flower	花
French	フランス語
fruit	くだもの
gate	門
history	歴史
house	家
Japanese	日本語
juice	ジュース
language	言語、言葉
last	この前の（last month＝先月、last Sunday＝この前の日曜日）
lemon	レモン
letter	手紙
library	図書館
lot	たくさん（a lot of～＝たくさん）
lunch	昼食
many	たくさんの、多くの
milk	牛乳
Monday	月曜日
month	月（1か月。next month＝来月、last month＝先月）
morning	朝（every morning＝毎朝）
mother	母
mountain	山

movie	映画
name	名前
new	新しい
news	知らせ、ニュース
next	次の（next month＝来月）
now	今
old	古い
open	開いている
orange	オレンジ
other	ほかの（other countries＝ほかの国々）
paper	紙
park	公園
pen	ペン
people	人々
photo	写真
picture	写真、絵
rice	米、ごはん
road	道
room	部屋
school	学校
shoe	くつ
shop	店
sign	かんばん、はり紙
singer	歌手
sister	姉、妹
small	小さい
snow	雪
soccer	サッカー
some	いくつかの
someone	だれか
song	歌
station	駅
stone	石
store	店
student	生徒
Sunday	日曜日
tea	茶
teacher	先生
temple	寺
too	～も
town	町
tree	木
week	週
weekend	週末
will	（助動詞）～だろう、～する予定だ
window	窓
woman	女の人
wood	木材
work	仕事
workshop	工房
world	世界
year	年（100 years ago＝100年前に）
yesterday	昨日

確認問題の答えと解説 ① （大問1～6）

- 1
- (1) **used** These pens are used in our school. (これらのペンは私たちの学校で使われている。)
- use は規則動詞。過去形と同じ used。【4】
- (2) **sold** These bags are sold at that store. (これらのかばんはあの店で売られている。)
- sell – sold – sold。過去形と同じ形。【4】
- (3) **sung** These songs are sung by children. (これらの歌は子どもたちに歌われている。)
- sing – sang – sung。3つともちがう。【4】
- (4) **known** Her name is known to everyone. (彼女の名前はみんなに知られている。)
- know – knew – known。「～に知られている」は known to。【4・6】

- 2
- (1) **are** These rooms are cleaned by the students every day. (これらの部屋は毎日生徒たちによってそうじされる。)
- These rooms は2つ以上、every day は現在。【3】
- (2) **were** These houses were built ten years ago. (これらの家は10年前に建てられた。)
- 2つ以上、ten years ago は過去。【3】
- (3) **was** I was invited by Emma last week. (私は先週エマに招待された。)
- I の過去は was。by の後ろは Emma。【3】
- (4) **is** Lunch is made by my father every Sunday. (昼食は毎週日曜日に父によって作られる。)
- Lunch は1つ、every Sunday は現在。【3】

- 3
- (1) **is / read** That book is read around the world. (その本は世界中で読まれている。)
- 主語は1つ、現在なので is。read の過去分詞も read。【3・4】
- (2) **were / made** These shoes were made in Japan. (これらのくつは日本で作られた。)
- 2つ以上で過去なので were。make の過去分詞は made。【3・4】

- (3) **was / eaten** This cake was eaten by Yuki's brother yesterday. (このケーキは昨日ユキの弟に食べられた。)
- 過去なので was。eat の過去分詞は eaten (ate は過去形)。【3・4】
- (4) **are / spoken** Two languages are spoken in this country. (この国では2つの言葉が話されている。)
- 主語は2つ以上、現在なので are。speak の過去分詞は spoken (spoke は過去形)。【3・4】

- 4
- (1) **of** The bridge is made of stone. (その橋は石でできている。)
- 見て石だと分かるので of。【6】
- (2) **from** Cheese is made from milk. (チーズは牛乳から作られる。)
- 形がかわって牛乳だと分からないので from。【6】
- (3) **in** Emma is interested in other countries. (エマはほかの国々に興味がある。)
- be interested in ～ (～に興味がある)。【6】
- (4) **at** Ken was surprised at the big dog. (ケンはその大きな犬におどろいた。)
- be surprised at ～ (～におどろく)。【6】

- 5
- (1) **The door was opened by Emma.** (そのドアはエマによって開けられた。)
- 「～を」の the door を主語に、過去なので was opened、最後に by Emma。【3】
- (2) **This library is used by many students.** (この図書館は多くの生徒に使われている。)
- this library を主語に、現在なので is used。【3】
- (3) **These pictures were taken by her.** (これらの写真は彼女によって撮られた。)
- these pictures は2つ以上で過去なので were taken。by の後ろは she → her。【3・4】

- 6
- (1) **These dishes are not washed by Ken.** (これらの皿はケンによって洗われていない。)
- be動詞の後ろに not。【5】
- (2) **Was this book written by Ken's father? — Yes, it was.** (この本はケンの父によって書かれましたか。—はい、書かれました。)
- be動詞を主語の前に。答えも be動詞で。【5】
- (3) **Where was this movie made?** (この映画はどこで作られましたか。)
- Where を最初に、そのあとは be動詞 + 主語 + 過去分詞。【5】

確認問題の答えと解説 ② （大問7～11）

7

(1) **Many people love this song.** (多くの人がこの歌を愛している。)
by の後ろの many people を主語に、動詞を love に。many people は複数なので s はつけない。【2・3】

(2) **My mother made these cakes.** (母がこれらのケーキを作った。)
were made は過去なので、する側の文も過去形 made。【2・3】

8

(1) **This picture was taken in Kyoto last year.** (この写真は去年京都で撮られた。)
過去なので was taken。picture は photo でもよい。last year と in Kyoto は入れかえでもよい。【3・4】

(2) **This room is not used on Sundays.** (この部屋は日曜日には使われない。)
否定文は be動詞の後ろに not。use の過去分詞は used。isn't でも、on Sunday でもよい。【4・5】

(3) **When was this castle built?** (この城はいつ建てられましたか。)
When を最初に、そのあとは be動詞 + 主語 + 過去分詞。【5】

9

(1) **This camera is made in Japan.** (このカメラは日本で作られている。)
be動詞が抜けている。現在の文なので is。【3】

(2) **The window was broken by a ball.** (その窓はボールで割られた。)
broke は過去形。過去分詞は broken。【4】

(3) **These bags were made by Emma's mother.** (これらのかばんはエマの母によって作られた。)
These bags は2つ以上で、過去の文なので was ではなく were。【3】

10

(1) **This school was built in 1960.** (この学校は1960年に建てられた。)
主語 this school のあとに was built。In 1960, this school was built. も正解。【2・3】

(2) **Are these cars made in Japan?** (これらの車は日本で作られていますか。)
疑問文は be動詞 are を主語の前に。【5】

(3) **Ken's pictures are seen by many people.** (ケンの絵は多くの人に見られている。)
主語は複数なので are seen。最後に by many people。【3】

(4) **It was drawn by my sister.** (いいえ。それは姉がかいたんだよ。)
「その絵」(it) が主語で「かかれた」なので、受け身 was + 過去分詞。draw の過去分詞は drawn (draw – drew – drawn)。drew は過去形なので使わない。【3・4】

(5) **Was it cooked by your father?** (このカレー、とてもおいしいね。それはあなたのお父さんが作ったの？)
B が Yes, it was. と be動詞で答えているので、受け身の疑問文。be動詞 was を主語 it (カレー) の前に出す。did は使わない (X Did it cooked)。【5】

11

(1) **来月、図書館は小さな行事を開催する予定で、多くの人がそれに来る予定です。**
will hold と are going to come は、どちらも未来のことを表す言い方 (中1・中2で習った形)。【本文】

(2) **ケンは自分の町の歴史に興味があります。**
be interested in ～ (～に興味がある)。【6】

(3) **No, it wasn't.** (いいえ、書かれていません。)
本文に A new sign was written by a student last month. とある (先生ではなく生徒)。答えも be動詞で。【5】

(4) **They were taken about 50 years ago.** (それらは約50年前に撮られました。)
本文に They were taken about 50 years ago. とある (They は old photos)。【5】

(5) **月曜日。**
本文に It is not open on Mondays. とある。【本文】

本文の訳 これは私たちの町にあるアオバ図書館です。約80年前に建てられました。この図書館は週末にたくさんの生徒に訪れられます。月曜日は開いていません。新しいかんばんが先月、ある生徒によって書かれました。①来月、図書館は小さな行事を開催する予定で、多くの人がそれに来る予定です。いくつかの部屋は古い写真でおおわれています。それらは約50年前に撮られました。②ケンは自分の町の歴史に興味があります。